

青春

サミエル・ウルマン
邦訳 岡田 義夫

青春とは人生のある期間を言うのではなく心の様相を言うのだ。
優れた創造力、逞しき意志、炎ゆる情熱、怯懦を却ける勇猛心、
安易を振り捨てる冒険心、こう言う様相を青春と言うのだ。
年を重ねただけで人は老いない。
理想を失う時に初めて老いがくる。
歳月は皮膚のしわを増すが情熱を失う時に精神はしぼむ。
苦悶や、狐疑、不安、恐怖、失望、こう言うものこそ恰も長年月の
如く人を老いさせ、精気ある魂をも芥に帰せしめてしまう。
年は七十であろうと十六であろうと、その胸中に抱き得るものは何か。
曰く「驚異への愛慕心」空にひらめく星晨、その輝きにも似たる事
物や思想の対する歓迎、事に處する剛毅な挑戦、小児の如く求め
て止まぬ探求心、人生への歓喜と興味。

人は信念と共に若く 疑惑と共に老ゆる
人は自信と共に若く 恐怖と共に老ゆる
希望ある限り若く 失望と共に老い朽ちる

大地より、神より、人より、美と喜悅、勇氣と壮大、偉力と靈感を受
ける限り人の若さは失われぬ。これらの靈感が絶え、悲歎の白
雪が人の心の奥までも蔽いつくし、皮肉の厚氷がこれを固くとざす
に至ればこの時にこそ人は全くに老いて神の憐れみを乞う他はな
くなる。